

週報

1989年2月26日 復活前第4主日

巻 9 48号

1988年度教会主題

「真理の御言に聴き、従う」

あなたの御言は真理であります。あなたがわたしを世につかわされたように、わたしも彼らを世につかわしました。また彼らが真理によって聖別されるように、彼らのためわたし自身を聖別いたします。

ヨハネによる福音書17章17節b-19節

日本キリスト教団 **横浜港南台教会**

会 堂 〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

☎ 045-833-5323

振替 横浜 9-13394

牧師宅 〒235 横浜市磯子区洋光台 5丁目-6-3-304

☎ 045-833-6616

牧師 秋 吉 隆 友佳

しかし、私はあるべき所から落ちて、それが人類に蔓延したと言っているのではないと思う。J典記者は、紀元前850年頃、王権を巡る醜い権力抗争を目の前に見て、人間の現実はどうだと訴えている。人はまだ誰も神が備えてくれた全き楽園の「エデンの園」に住んだことはない。J典記者は、あくまで神への不信と隣人を愛せない人間の罪の世界を描こうとしている。そのリアリティーが人々を納得させてきた。

私は聖書が「神の言葉」として人の心を離さなかったのは、人間の罪の姿を鮮やかに描き出すけれども、必ずその背後に神の創造を是とする信仰が示されているからだと思う。人間の現実をいくら知らされても、希望や勇気は湧いてこない。「エデンの園」が示されるから、今日は破れても、その方向に体を向ける望みと力が与えられる。イエス・キリストはそこに招き、聖霊においてそれを実現すると約束してくださっている。

—牧師室から—

今年の元旦礼拝から創世記の講解説教を始め、3章の墮罪物語までできた。人とその妻は、神を象徴する「善悪を知る木」の実を食べ、神を侵す罪に走った。その結果、神の顔を避ける不信と責任を転嫁し合う愛の喪失に陥った。神の名を「ヤーウェー」と書くJ典記者は、神と人との関係が崩れていく様を生き生きと記している。パウロはここから「死がひとりの人によってきた……アダムにあってすべての人が死んでいる」と語っている。又、アウグスチヌスは「原罪」と言い、人類の罪と死の始めと見なしている。神の創造の秩序から転落していった人間の姿と理解されてきた。